



中村恩恵
撮影=大河内 禎

ラシッド・ウランダン
撮影=Géraldine Aresteanu

倉田翠
撮影=前谷 開

国立劇場 5月特別企画公演

言葉〜ひびく〜身体 II

今を生きる

— 現前する舞と生 —

Dance Performance
Echoing~Words~Body Part 2

Living in the Moment
— Dance & Life Emerging Here and Now —

SABAKU [新作初演]

演出・振付=倉田翠

Sabaku

Direction and Choreography: Midori Kurata

今村達紀・大石英史・楠毅一朗・竹ち代穂也・狭間要一・平澤直幸・
正木悠太・諸江翔大朗・山本和馬・よしたく／寺田みさこ ほか

Tatsunori Imamura, Eiji Oishi, Kiiichiro Kusunoki, Mariya Takechiyo,
Yoichi Hazama, Naoyuki Hirasawa, Yuta Masaki, Shotaro Moroe,
Kazuma Yamamoto, Yoshitaku / Misako Terada and others

人^{こたま}と^{こたま} 響 [新作初演]

演出・振付=中村恩恵

The Man and the Echo

Direction and Choreography: Megumi Nakamura

花柳基・宮本祐宜

Motoi Hanayagi, Yuki Miyamoto

時間と眼差し [新作初演]

(原題: Nous regardions les années)

コンセプト・振付=ラシッド・ウランダン

Time and the Gaze

Concept and choreography: Rachid Ouramdane / CCN2 Grenoble

アニー・ハナウアー、ローラ・ジュオドカイト、セバスティアン・ルディグ、
マヤレン・オトンド、ローラ・ポティロン、レアンドロ・ヴィラヴィセンシオ、
オール・ワシュテール ほか

（ほかオーディションによる日本人ダンサー7人）

Annie Hanauer, Lora Juodkaite, Sebastien Ledig, Mayalen Otondo, Lola Potiron,
Leandro Villavicencio, Aure Wachter and others

令和2年

5月23日(土)・24日(日) 午後3時開演

入場料金(税込)=1等席 5,500円/学生 3,900円
2等席 3,500円/学生 2,500円 ※障害者の方は2割引です。

予約開始=3月11日(水) 午前10時~

窓口販売開始=3月12日(木) (チケット売場 午前10時~午後6時)

※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

【電話】国立劇場チケットセンター [午前10時~午後6時]

0570 (07) 9900 03 (3230) 3000 [一部IP電話等]

【インターネット】国立劇場チケットセンター [検索](#)

企画アドバイザー=石井達朗

主催=独立行政法人日本芸術文化振興会(国立劇場)

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

助成・協力=東京都

後援=在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本

Date: 23, 24 May 2020, Start 15:00

Venue: National Theatre Large Theatre

4-1, Hayabusa-cho, Chiyoda-ku, Tokyo

(Nearest Train Station: Hanzomon of Tokyo Metro Line)

https://www.ntj.jac.go.jp/english/access/facilities_01.html

Ticket: All Seats Reserved

[1st Grade] Adults: 5,500yen (Students: 3,900yen)

[2nd Grade] Adults: 3,500yen (Students: 2,500yen)

(20% discount for the Disabled)

On Sale from 11 March 2020

National Theatre Ticket Centre

https://ticket.ntj.jac.go.jp/top_e.htm

0570-07-9900 (10:00~18:00)

Counter Sales from 12 March 2020

Supervisor: Tatsuro Ishii

Organized by Japan Arts Council (National Theatre),

Arts Council Tokyo (Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture)

Supported by and in cooperation with Tokyo Metropolitan Government

Supported by Embassy of France / Institut français du Japon

国立劇場 5月特別企画公演

言葉～ひびく～身体 II

今を生きる

— 現前する舞と生 —

Dance Performance

Echoing～Words～Body Part 2

Living in the Moment

— Dance & Life Emerging Here and Now —

SABAKU

Sabaku

Direction and Choreography: Midori Kurata

倉田翠は京都を中心に意欲的な作品を発表している気鋭のダンサー、演出家です。緊密な創作過程を経て、出演者の個性を深く見つめることから立ち上がる身体性が息づく作品は、独自の磁力を放っています。社会で生きる人間という個、そして個が成り立たせ、吸収されていく集団の抗いがたい力に切り込んだ『捌く』(2017)をもとに、演出・振付が全面改訂されて新たに生まれ変わります。約20人のダンサーの身体が自在に呼応する舞台にご期待ください。

国立劇場とアートカウンシル東京が2019年よりスタートさせた「言葉～ひびく～身体」は、ジャンル等の垣根を越えて広く舞踊(ダンス)の魅力にふれていただくシリーズです。時に相和し、時に拮抗し、古より影響を与え合いながら歩んできた「言葉と身体」が、現代に切り開く地平に迫ります。

第2回目となる今回は(今を生きる)のテーマのもと、人間と社会、それぞれの内面や在り方、両者の関係に独自の視点でアプローチし、人間の様々な「生」を探る新作3作品を上演します。舞台上の“今・そこ”でときに躍動し、ときに沈潜する言葉、身体、動き——振付家とダンサーによる3つの小宇宙が創造されます。新作ならではの緊張感と可能性に満ちた舞台にご期待ください。

With “Words and Body” as its theme, “Echoing ~ Words ~ Body” is a performance series that shows the diverse appeal of dance, whether classical dance or modern dance, from Japan or from overseas.

With the title of “Living in the Moment,” this performance premieres three new dance pieces. The words uttered intermittently onstage, the swinging and swaying bodies of the dancers, their motions cutting across the space — together these choreographers and dancers create three microcosmos. You will see on stage an abundance of excitement and potential that you can only experience through new works.

演出・振付=倉田翠

出演=今村達紀・大石英史・楠毅一郎・竹ち代穂也・狭間要一・平澤直幸・正木悠太・諸江翔大朗・山本和馬・よしたく／寺田みさこ ほか

倉田翠(くらたみどり)

京都造形芸術大学映像・舞台芸術学科卒業。京都を中心に、演出家・振付家・ダンサーとして活動。作品ごとに自身や他者と向かい合い、そこに生じる事象を舞台構造を使ってフィクションとして立ち上がらせることで「ダンス」の可能性を探求している。2016年より、倉田翠とテクニカルスタッフのみの団体、akakilike(アカキライク)の主宰を務める。近作に『家族写真』(2016)、『明日で全部が終わるから今までにした最悪なことの話をしようランド』(2019)など。



人^{こども}と^{こども} 人

The Man and the Echo

Direction and Choreography: Megumi Nakamura

世界的なダンスカンパニーで活躍し、現在は振付家としても精力的に活動している中村恵。しなやかな感性に基づく洗練された振付は高い評価を得ています。アイルランドの詩人イエイツの作品「人と人」を元に、一人の人間の内面で交わされる自己との対話が、舞踊という表現形式を通じて綴られます。日本舞踊に潜む可能性や現代性に迫る、その新たな一歩にご期待ください。日本舞踊界で今、もっとも輝く名手の一人、花柳基と柔軟な表現力が光るバレエダンサーの宮本祐宜、注目の共演です。

演出・振付=中村恵

出演=花柳基・宮本祐宜



花柳基(撮影=藤山紀信)



宮本祐宜

中村恵(なかむらめぐみ)

1988年ローザンヌ国際バレエコンクールにてプロフェッショナル賞を受賞後、モンテカルロバレエ団を経て、イリ・キリアン率いるネザーランド・ダンス・シアターに所属し活躍。2007年に日本へ活動の拠点を移した後も、ダンサー・振付家として、新国立劇場バレエ団、Kバレエカンパニー、パリ・オペラ座のエトワールなどに作品を提供。首藤康之との創作活動も積極的に行っており、「Shakespeare THE SONNETS」(新国立劇場)など多くの作品を上演。また、キリアン作品のコーチも務め、パリオペラ座をはじめ世界各地のバレエ団や学校の指導にあたる。2010年芸術選奨文部科学大臣賞、2018年紫綬褒章など受賞多数。



時間と眼差し

Time and the Gaze

Concept and choreography: Rachid Ouramdane / CCN2 Grenoble

フランス・グルノーブルの国立振付センターの共同ディレクターを務めるラシッド・ウランタンは、大きなアンサンブルから緊密さ溢れる少人数のものまで多彩な創作活動を展開しており、レパートリーはフランス以外の各国にもたびたび招かれています。「時間と眼差し」は「TORDRE」(2014)と「Tenir le temps」(2015)両作品の要素を踏まえ、日仏共同で制作する本公演ならではの新作です。異なるバックボーンを持つダンサーの共演と、人と人との親密さや多様な関係の現れが表現される、繊細で緻密な振付にご注目ください。

コンセプト・振付=ラシッド・ウランタン

出演=アニー・ハナウアー、ローラ・ジュオドカイト、セバステイアン・ルディグ、マヤレン・オトンド、ローラ・ボティロン、レアンドロ・ヴィラヴィセンシオ、オール・ワシユテール ほかオーディションによる日本人ダンサー7人

ラシッド・ウランタン

1995年よりアートプロジェクトを行う。ダンスカンパニーL' A. の創設以来、ドキュメンタリー映画監督や作家とのコラボレーションのもと、緻密な証言・証拠に基づいた創作を行っている。証言の詩学を探索する振付作品を介して、舞踊芸術が社会的論議に寄与することを目指している。日本においては「万国博覧会(ワールド・フェア)」[「TORDRE」]が上演されている。2016年1月より、ヨアン・ブルジョワとグルノーブルの国立振付センターの共同ディレクターを務める。



令和2年 5月23日(土)・24日(日) 午後3時開演

◎入場料金(税込)=1等席 5,500円/学生 3,900円 (午後6時終演予定)
2等席 3,500円/学生 2,500円

※障害者の方は2割引です。また、車椅子用スペースがございます。詳細はチケットセンターまでお問い合わせください。
※出演者などの変更の場合はご了承ください。

予約開始

3月11日(木)
午前10時～

【電話】国立劇場チケットセンター [午前10時～午後6時]

0570-07-9900 03-3230-3000

【インターネット】

国立劇場チケットセンター

検索



■窓口販売開始 3月12日(木) (チケット売場 午前10時～午後6時)

※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

■プレイガイド チケットぴあ 0570(02)9999 <https://t.pia.jp/>
e+ (イープラス) <https://eplus.jp/>

Date: 23, 24 May 2020, Start 15:00/ End 18:00 ※ End time is an estimate and could vary.

Venue: National Theatre Large Theatre

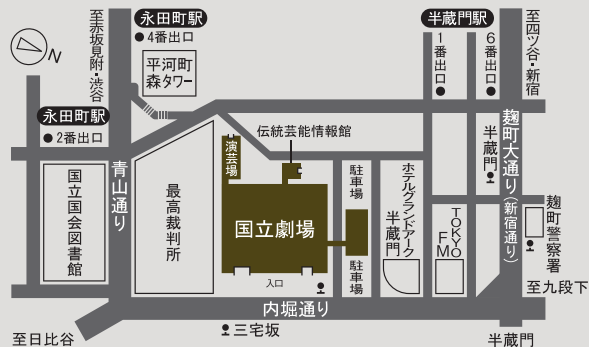
4-1, Hayabusa-cho, Chiyoda-ku, Tokyo (Nearest Train Station: Hanzomon of Tokyo Metro Line)
https://www.ntj.jac.go.jp/english/access/facilities_01.html

Tel: 03-3265-7411

東京・半蔵門

国立劇場
National Theatre, Tokyo

〒102-8656 千代田区準町4-1
03-3265-7411(代表)
<https://www.ntj.jac.go.jp/>



- 地下鉄 半蔵門線(半蔵門駅)6番出口(エスカレーター、エレベーターあり)・1番出口徒歩5分
有楽町線・半蔵門線・南北線(永田町駅)4番出口徒歩8分・2番出口徒歩10分
- 都バス 都03(晴海埠頭一銀座四丁目一四谷駅)三宅坂徒歩1分(本数僅少)
宿75(新宿駅西口一河田町一四谷駅前一三宅坂)三宅坂徒歩1分(本数僅少)
- 劇場バス 終演時に運行(東京行き・新宿行き)(有料)
- 駐車場 収容台数に限りがございます。なるべく公共交通機関をご利用ください。

国立劇場託児室

ご利用には、事前のご予約が必要です。(定員になり次第、締め切らせていただきます。)

料金 [0～1歳] 2,200円 / [2～12歳] 1,100円

イベント託児・マザーズ <http://www.mothers-inc.co.jp/>

ご予約・お問合せ ☎0120-788-222 [受付時間] 平日午前10時～12時、午後1時～5時